

柏崎・刈羽地域

稲作だより

No.4

コンパクトなイネづくり粒張りの良い米づくり穂肥編

R7. 6. 20

- ・低温・日照不足により生育が遅れぎみですが、極早生・早生品種は生育が回復してきました。

・早生品種の穂肥時期が迫っています。必ず幼穂の長さを確認して穂肥診断を行い、適期を逃さずに施用しましょう。

・6月10日に梅雨入りしました。今後は高温が予想されるので、遅れずに中干しを実施しましょう。

◇現在の生育状況（6/10調査データ）

(調査区平均)

	草丈（cm）		茎数（本/m ² ）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）
コシヒカリ	29	97% （30）	172	82% （210）	6.4	-0.4 （6.8）	31.5	-4.5 （36.0）
こしいぶき	27	100% （27）	324	125% （260）	7.0	-0.2 （7.2）	42.0	3.0 （39.0）
新之助	27	96% （28）	98	49% （200）	5.8	-0.9 （6.7）	33.8	-1.2 （35.0）

○コシヒカリ：草丈「並」 茎数「少」 葉数「やや遅」 葉色「薄い」

○こしいぶき：草丈「並」 茎数「多い」 葉数「並」 葉色「濃い」

○新之助：草丈「やや短」 茎数「少」 葉数「遅い」 葉色「やや薄い」

1 出穂期および穂肥時期

（1）穂肥時期・施用量の目安（施用時期は平年の出穂期から算出）

品種	出穂期 （平年値）	施用時期の目安（出穂前日数）		穂肥施用量の目安	
		1回目	2回目	使用資材（例）	kg/10a（窒素成分）
葉月みのり	7/14	6/24（20）	7/4（10）	穂肥520号	1回目：10（1.5） 2回目：10～13（1.5～2.0）
新潟次郎	7/14	6/19（25）	6/30（14）	塩安	1回目：12（3.0） 2回目：12（3.0）
こしいぶき	7/25	7/2（23）	7/11（14）	穂肥520号	1回目：10（1.5） 2回目：13（2.0）
コシヒカリ	8/4	7/17（18）	7/25（10）	越後の輝き有機50穂肥	1回目：8～12（1.0～1.5） 2回目：8～16（1.0～2.0）
新之助	8/9	7/22（18）	7/30（10）	越後の輝き有機50穂肥	1回目：4～12（0.5～1.5） 2回目：4～12（0.5～1.5）

◎早生品種の1回目の穂肥施用は、粳数確保のために非常に重要です。適期を逃さず実施しましょう。

2回目の穂肥施用は登熟向上と品質低下の防止に効果的です。確実に施用しましょう。

（2）幼穂長と出穂前日数の目安

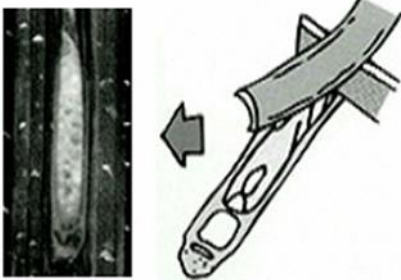
出穂期予測方法 → 平均的な生育の株の主茎を選び、幼穂の長さを確認する（下表）。

穂肥時期予測方法 → 幼穂長から出穂前日数を推定し、（1）の表から穂肥時期を判断する。

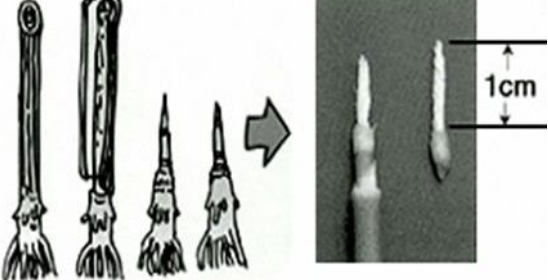
出穂前日数	24日	20日	18日	12日	10日
幼穂長（cm）	0.1	0.4	1.0	4～6	8～11

<幼穂長の確認方法>

<その1 カッターなどで割る>



<その2 葉鞘をむく>



① 平均的な生育の株を選ぶ

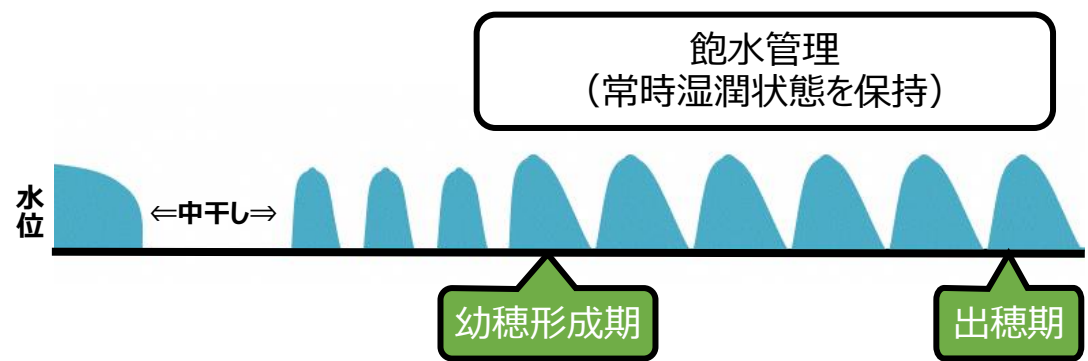
② 株の中で一番長い茎（主茎）を選び株元から抜く

③ 根元に近いところからカッターで半分に裂き、一番上がっている節の上にある幼穂の長さを測る

2 中干し以降の水管理

飽水管理：自然に水が減って田面に水がなくなってきたら再び入水。

※出穂期前後は稲の穂が伸長する大事な時期で水を最も必要としますので、田面を乾かさなような水管理をしましょう。



3 病害虫の発生・対策

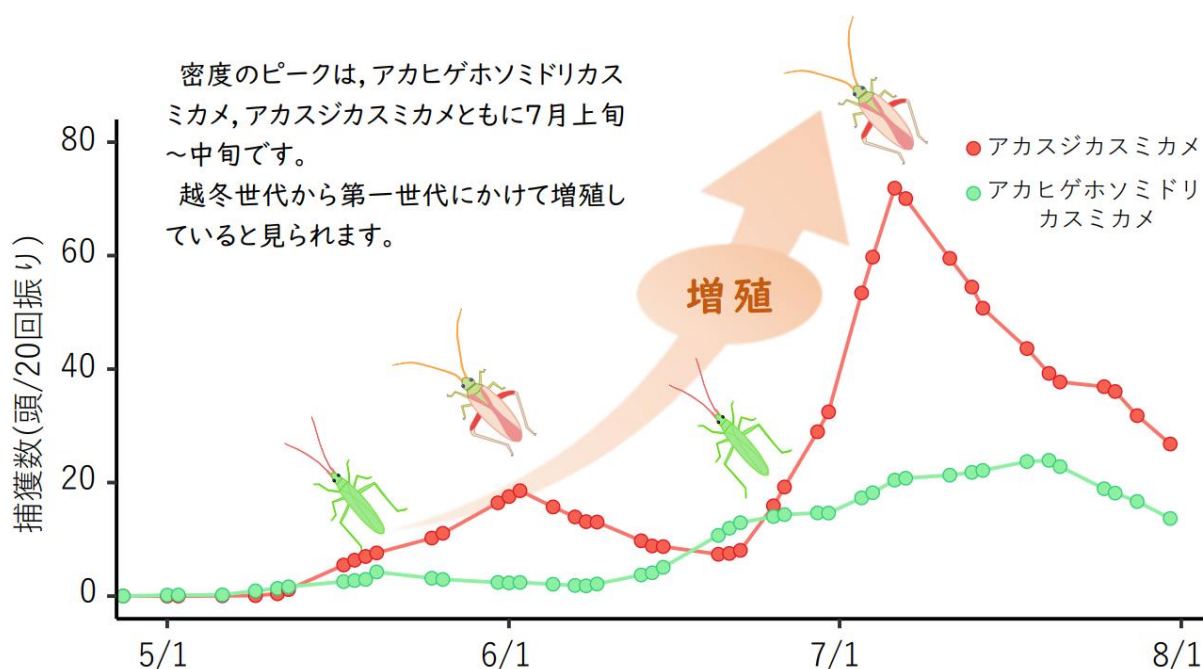
【いもち病】

- ・梅雨時期のジメジメした気候が続くと感染が蔓延します。葉月みのり、新潟次郎、わたぼうし、新之助などは予防防除を基本とし、葉いもちの発生を確認した場合には速やかに薬剤防除を実施しましょう。
- ・いもち病の発生源となるので、補植苗がほ場に残っている場合は速やかに撤去しましょう。

【斑点米カメムシ】

○対策

- ・農道や畦畔などのメヒシバ、エノコログサなどのイネ科雑草はカメムシ類の生息地となるので種子が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。
- ・稲の穂が出る7月下旬以降に除草を行うと、カメムシ類を水田に追い込むことになるため、7月中旬までに除草しましょう。
- ・水田内の雑草（ノビエ、ホタルイ）は、カメムシ類を誘引し、その増殖を助長するため、除草を徹底しましょう。



○生態

- ・カメムシ類は雑草地で増殖し、主にイネの出穂に伴い水田に侵入し、イネの穂を吸汁加害し斑点米を発生させます

○多発生しやすい条件

- ・農道や畦畔などにカメムシが好む雑草が多い地域
- ・前年に斑点米被害が多発生した地域
- ・夏期高温の年
- ・極早生・早生品種や割れ粳が多い場合
- ・水田内雑草が多い場合

【雑草地（田植え～早生出穂期頃）のカメムシ類捕獲数の推移】

（出典：新潟県農業総合研究所作物研究センター）

★7月7日（月）より、各地域において現地穂肥指導会が開催されます！是非、足を運んでいただきたいと思います！

◎ SNS・メールで情報提供しています！

＜JA えちご中越柏崎地域営農情報＞



アカウント ID：@882qbimy



＜柏崎農業普及指導センター 稲作メールマガジン＞



↑詳細はこちらから

ngt111840@pref.niigata.lg.jp

こちらのアドレスに、
① 件名は「稲作メールマガジン申込」
② 本文に「氏名」、「電話番号」を記入の上、送信してください。

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区
柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）

【お問い合わせ先】

全地区共通

柏崎農業普及指導センター 21-6263
JA えちご中越柏崎地区センター
農政企画課 21-0220

東部田尻・西中通・高柳

かしわざき営農センター 35-8188

南部高田・中央柏崎地区

かしわざき南部営農センター 41-6087

刈羽・西山地区

かしわざき北部営農センター 45-2258